

物質・材料研究機構と 定年制事務職の仕事

国立研究開発法人物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science

Contents

- 国立研究開発法人とは
- NIMSとは
- NIMSの成果・実績（広報）
- NIMSの事務職の仕事とは

国立研究開発法人とは？

国立研究開発法人＝“独立行政法人”の類型の一つ。

公共性の高い業務を実施するものの、効率化などのために
独立した法人格を与えられた公的機関

独立行政法人（全87法人）

中期目標管理法（53法人）

- ・職員は“みなし公務員”
- ・中期（～5年）計画を基に運営

日本学生支援機構、国際協力機構など

特に世界トップレベルの成果を生み
出すことを期待されている法人

国立研究開発法人（27法人）

- ・職員は“みなし公務員”
- ・中長期（～7年）計画を基に運営
- ・“研究成果の最大化”を目的

特定国立研究開発法人（3法人）

物質・材料研究機構、
産業技術総合研究所、
理化学研究所

行政執行法人（7法人）

- ・職員は国家公務員
- ・単年度の業務計画を基に運営

国立公文書館、造幣局など

国立研究開発法人とは？

国立研究開発法人の例（つくば市に事業所を有する法人＋文科省所管法人）

	主務省庁	所在地※1	役員数	常勤職員数※2	うち研究職員数
日本原子力研究開発機構	文科省	茨城県	10	約4000人	約900人
農業・食品産業技術総合研究機構	農水省	茨城県	15	約3400人	約1900人
理化学研究所	文科省	埼玉県	8	約3400人	約1900人
産業技術総合研究所	経産省	茨城県	14	約3000人	約2300人
宇宙航空研究開発機構	文科省	茨城県	11	約2300人	約1200人
科学技術振興機構	文科省	東京都	7	約1300人	約150人
量子科学技術研究開発機構	文科省	千葉県	6	約1200人	約600人
森林研究・整備機構	農水省	茨城県	8	約1100人	約500人
海洋研究開発機構	文科省	神奈川県	6	約1000人	約300人
物質・材料研究機構	文科省	茨城県	6	約900人	約700人
土木研究所	国交省	茨城県	5	約450人	約330人
国立環境研究所	環境省	茨城県	5	約300人	約200人
防災科学技術研究所	文科省	茨城県	4	約250人	約150人
建築研究所	国交省	茨城県	4	約90人	約60人

NIMSの規模は中程度。一方常勤職員に占める研究職員の割合が高いことも特徴。

※1 メインとなる事業所の所在地。法令上の所在地ではないことに注意。

※2 任期付きの職員を含む。

NIMSとは？（①概要）



【理事長】橋本 和仁
(平成28年1月1日着任)

【沿革】

昭和31年7月 金属材料技術研究所 設立
昭和41年4月 無機材質研究所 設立
平成13年4月 (独)物質・材料研究機構 発足
平成27年4月 国立研究開発法人制度発足
平成28年10月 特定国立研究開発法人化



千現地区



桜地区



並木地区



播磨地区

国立研究開発法人物質・材料研究機構

平成13年4月設立

— 物質・材料分野の中核的機関 —

人 員 構 成 (令和3年1月1日現在)	人 数	内 数	
		外国人	女性
役 員	6	0	1
研究職員	390 (395)	47 (199)	40 (68)
エンジニア職員	69 (362)	1 (24)	15 (240)
事務職員	105 (287)	0 (2)	34 (217)
役 職 員 合 計	570(1044)	48(225)	90 (525)
割 合		8.4% (21.6%)	15.8% (50.3%)

※研究職員・エンジニア職員の外国人比率は22.8%、女性比率は30.2%
※()内は任期制職員数

※事務職の配置はつくば市(千現、桜、並木地区)となり、現在、播磨地区(兵庫県)への配置はありません。

NIMSとは？（②物質材料研究）

「物質・材料」分野の研究をする基礎・基盤的研究機関

灯り、道路、橋、ビル、車、飛行機、携帯電話…
私たちの身の回りのすべてのものをつくる「物質」と「材料」

物質・材料研究は対象が広範囲にわたり、
あらゆる産業や科学技術の基盤となる極めて重要な研究分野

研究を通じて、環境やエネルギー、インフラ、医療など
様々な課題解決へ！



LED材料

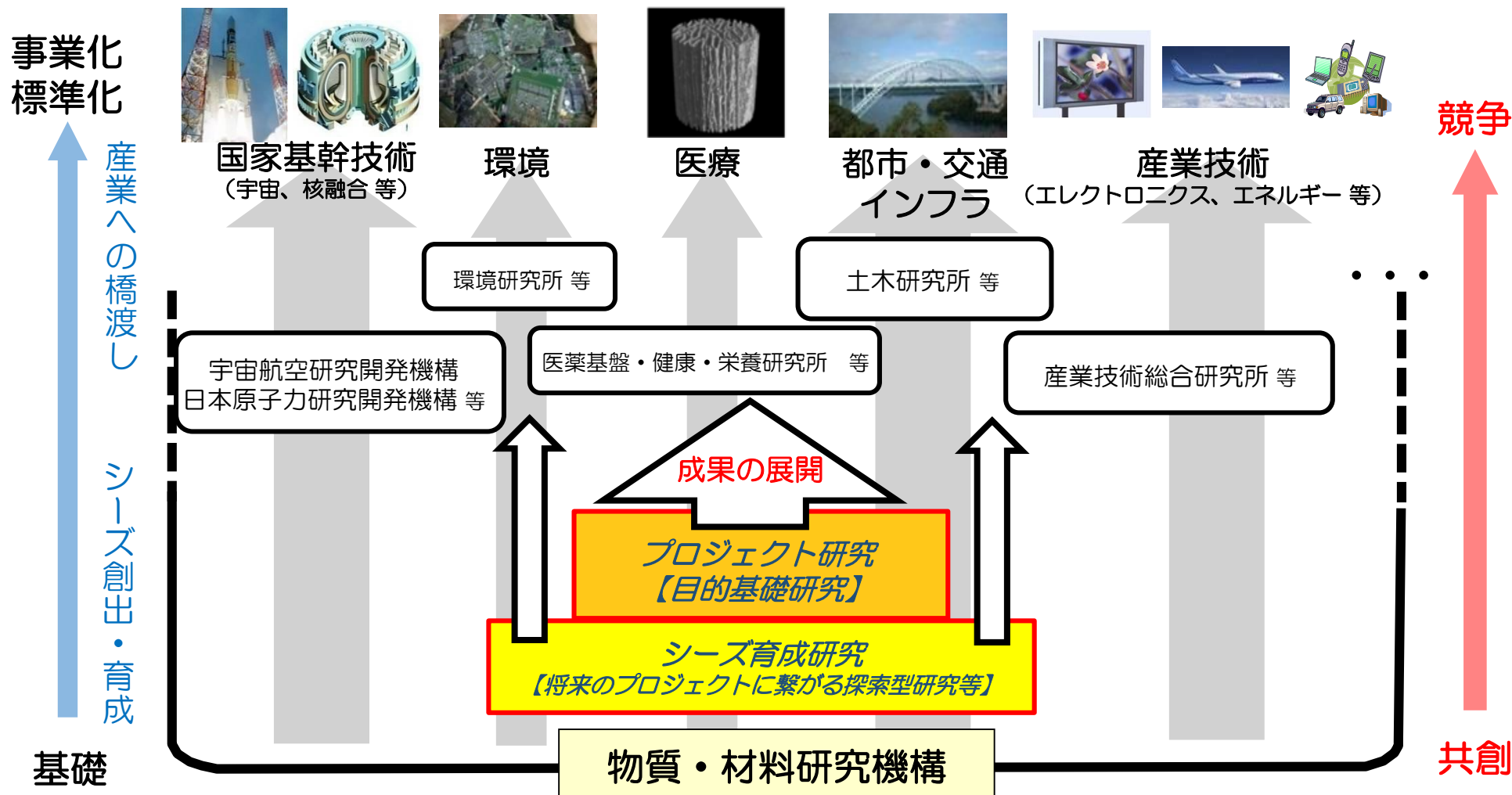


燃費向上のための超耐熱
タービン材料

物質・材料研究機構は、材料分野における世界トップレベルの研究所
として認識され、特定国立研究開発法人に指定されています。

NIMSとは？（③役割）

- 物質・材料の研究成果は多岐に渡り、我が国の社会のあらゆる分野を支える基盤。
- 物質・材料における基礎・基盤研究の中核機関(ハブ)として、産業界への橋渡しを担う各省研究所や民間企業の研究所へシーズを絶え間なく供給。



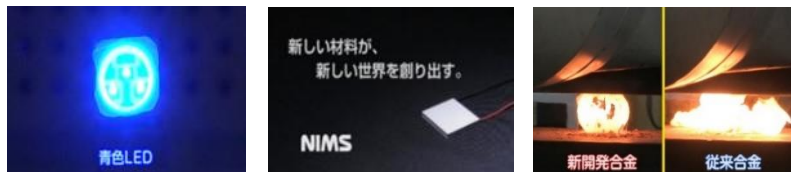
NIMSの成果・実績（広報）

広報ビジュアル化戦略の推進

You Tube 動画111作品

まてりある's eye

登録者数 : 16.6万人 主要機関第2位
 累計再生回数 : 2,695万7,320回 (R2年12月1日現在)



- ・鮮やか！実験映像 シリーズ
- ・最新研究映像 NIMSの力 シリーズ
- ・海外発信用 英語版「Materials Revealed!」

新感覚Webサイト「材料のチカラ」



- ・科学映像「未来の科学者たちへ」 科学技術映像祭 文部科学大臣賞
- ・フォトストーリー (例：「さび」思いがけない色の世界)
- ・コラム&インタビュー (例：形状記憶ポリマー ほか)

広報誌 **NIMS NOW** 隔月刊

(日本語版) 民間企業・公的機関・大学など約2,500箇所へ送付
 (英語版) 各国研究機関や大学など世界73ヶ国2,200以上に送付



NIMSの事務職の仕事とは？（定年制職員の種類）

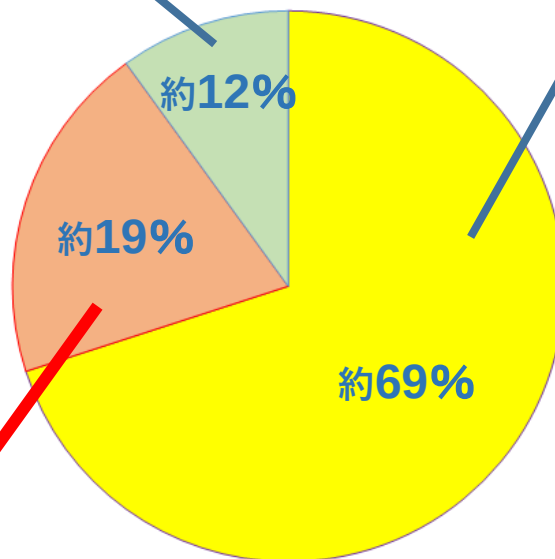
エンジニア職

特定分野のスキルを活かして業務にあたる。
いわばスペシャリスト。

【例】

- ・研究設備・実験装置の管理、共用促進、研究支援
- ・特許出願業務
- ・広報、デザインに係る業務等

< 定年制職員の内訳 >



研究職

物質材料分野の基礎研究/基盤的研究開発を行い成果を生み出す。

【主な研究拠点】

- ・機能性材料研究拠点
- ・エネルギー・環境材料研究拠点
- ・磁性・スピントロニクス材料研究拠点
- ・構造材料研究拠点
- ・国際ナノアーキテククス研究拠点
- ・先端材料解析研究拠点
- ・統合型材料開発・情報基盤部門

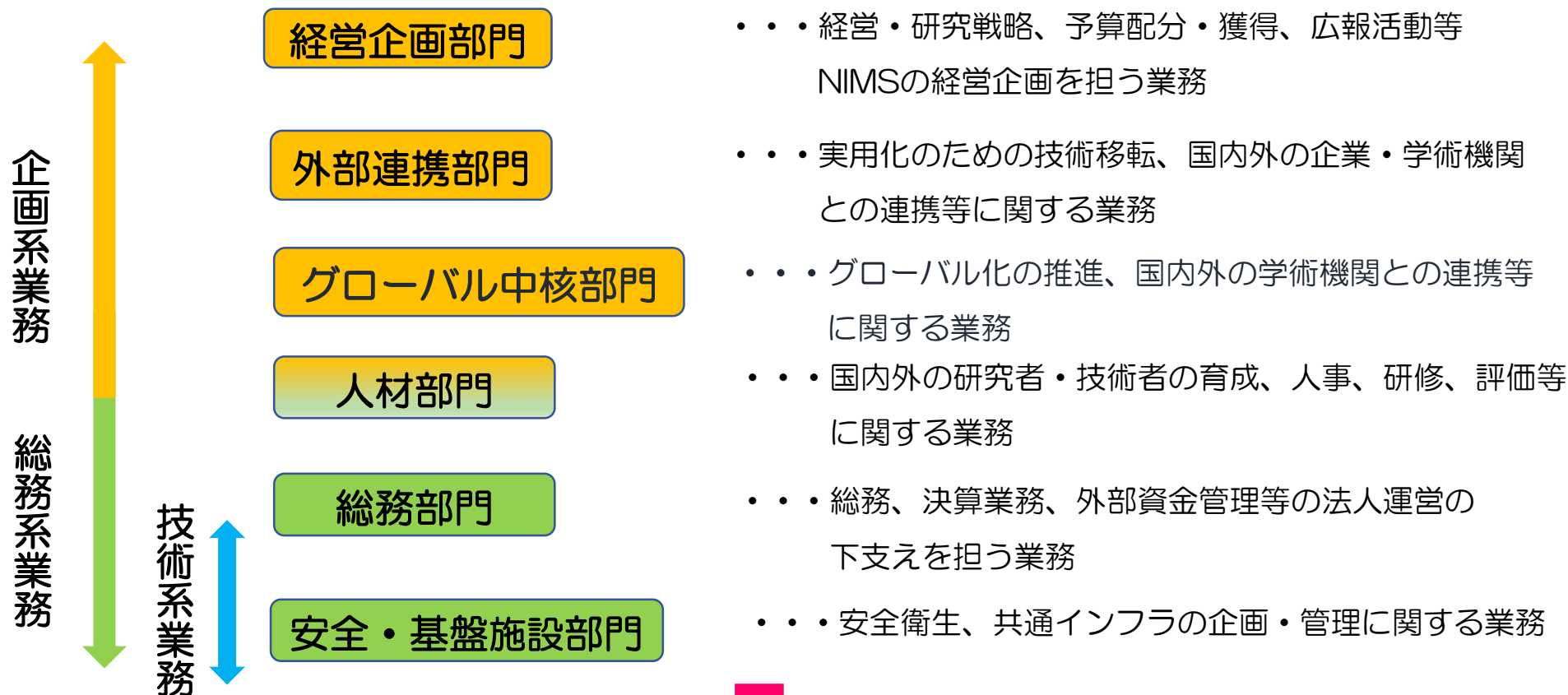
事務職

NIMS運営のための幅広い業務に従事するジェネラリスト。

&

施設管理、会計等専門スキルを育てつつ複数の部門に跨る業務に従事するセミスペシャリスト。

NIMSの事務職の仕事とは？



☆ここに記載した部門での業務のほか、研究部門における研究管理業務、内部統制業務などがあります。

☆通常、事務職員は2～3年程度で異動し、様々な種類の業務を経験することとなります。

NIMSの事務職の仕事とは？

NIMSの事務職に求められる人材像

○単なるアシスタントではなく、プレーヤーとして活躍できる方

- ・ 定年制事務職の業務は「研究の下支え」だが、「研究者のアシスタント」ではない。
研究者に負けない職業人としての矜持をもって業務にあたっていただきたい。

○各業務分野で専門的能力を磨きつつ、幅広い視野をもっていただける方

- ・ 事務職の業務は多岐に亘り、それぞれの部署固有の知識を効率よく身に付ける必要があるが、一方、これに縛られない多角的な、各自の強みを生かした視点を育てていただきたい。

○芯の強さと協調性をバランスよく保持できる方

- ・ 研究職／エンジニア職と事務職とでは立場が違いため、業務上の意見の不一致が起きることもしばしば。自分の考えをはっきり示すとともに、相手の立場を理解する姿勢も必要。

○公的機関の職員として良識と責任をもって行動できる方

- ・ NIMSの職員は、「公務に従事する職員」とされ、いわゆる「みなし公務員」になります。

文系／理系の適性について

文系／理系は不問です。様々なバックグラウンドを持った職員が活躍しています。

問い合わせ先

国立研究開発法人物質・材料研究機構人材部門人事室

TEL : 029-859-2472/2617/2692 E-mail : jinji3@nims.go.jp